

複数COMを設定するも、Hamlib error (悪戦苦闘したが結果出ず残念の大失敗談)

JJ1SXA/池

TWO FORTY誌第108号(令和2年12月発行)に「FT8に思う」という記事を投稿しましたが、内容は、…JT65 がJA で、一般QSO で運用され始めた当初は、スケジュールQSO からスタートし、そのための掲示板があった、私も新しもの好きで飛びついたが、何とか、タヌキワッチができれば卒業してしまった、多分、今より取り組むのが難しかったので、こんなものかとタヌキワッチできた時点で達成感が味わえたからでしょう…というものでしたが、矢張り昨今花盛りのFT8、流行の波に屈しきれず、せめてワッチ位はしようと思立ち、「WSJT-X」をダウンロードし、設定に取り掛かりましたが、COMポートエラーで駄目、考えて見たら既にCOMポートは使っている。

リグのRS232C端子に「USB-シリアル変換ケーブル」を使ってPCのUSB端子に接続して、リグのリモートをやっているが、リグは故障で、メインダイヤルとボリュームが言うことを聞かない、だがリモートではメインダイヤルも、ボリュームも正常に動作する、修理するまではリモートを止められない。

どうするか？で、思いついた、ソフトでバーチャルCOMを作り、一つのCOMで競合しない複数COMを動作させる方法だ。

早速、ソフト「VSPE」をダウンロードして設定だ、64ビット版は有料だが、32ビット版は無料だ、設定の手順を忘れないよう記事に残しておくことにした。

ダウンロードサイトは、「<http://www.eterlogic.com/Products.VSPE.html>」

以下、VSPE設定手順。

- 1、ダウンロードしたファイルの「SetupVSPE.zip」を解凍し、VSPEをインストール。
- 2、インストールしたVSPEを立ち上げ、「Device」メニューから「Create」を選択し、表示された「Specify device type」ウインドウの「Device type」から「Splitter」を選択し、「次へ」をクリックする。
- 3、表示された「Specify device characteristics」ウインドウの「Virtual serial port」にこれから使用する適当なCOMポート番号(私の場合はCOM10)を、「Data source serial port」に実際にPCに装備されているCOMポート番号(私の場合はCOM3)を選択し、次に、「Initial modem registers state」の「RTS」と「DTR」のチェックを外す。
- 4、「Settings..」をクリックし、表示された「Serial port settings」ウインドウで、Speed(ボーレート)を設定する。
その後「OK」をクリックし、「Specify device characteristics」ウインドウに戻った後、「完了」をクリックする。
- 5、メイン画面に戻り、「Status」のところに「Ready」と表示されていればOK。
- 6、全てのアプリケーションのCOMポート番号をCOM10に設定すれば、ポートが競合することなく動作する。

これで、リグのリモートもFT8も同時に運用OKの筈だが、WSJT-Xを立ち上げたら、エラーメッセージ。

Hamlibエラー: IO error
serial_open: Unable to open COM10 - No error
serial.c(237):serial_open return(-6)
rig.c(758):rig_open return(-6) 無線機への接続

こんなエラーメッセージだが、意味が分からない、「serial_open:Unable to open COM10 - No error」となっているので、複数COMの設定は問題無いということでしょう。

大分以前の事だが、このリグを「USB-シリアル変換ケーブル」とインターフェースを使い「JT65」が設定できたのだから、「WSJT-X」が設定できないわけは無かろうと思うが、エラーメッセージの意味が分からないのだから、対処は難しい、「Hamlibエラー」をWEBで検索したら、

「Hamlib error:

Communcation bus collision while getting current frequency」

という記事がありました、ただこのケースは、「WJST-Xのソフトからリグに周波数を読み出しに行くとき他装置との信号の衝突が起こっている」ということのようにです。

私と同じエラーメッセージのケースは出てきませんが、色々試行錯誤しましたが、進展がありません、私の場合、「IO error」というのが出ています、そこで考えられるのは、リグのリモートソフトを立ち上げているので、それがまずいのかと思います。

「IO error」は本来なら、デバイスの入出力エラーが発生したことのようにですが、「実際に適用される呼び出しの後に別の呼び出しを行なった場合に発生する場合があります」とのメッセージもありました、

これから推察すると、どうも、「リグのリモートソフト」と「WJST-X」の相性が悪いようだ、いわゆる、ポーリングでコンフリクトが発生で、「Hamlib error」となるのでしょう。

だが、リグ本体の一部不具合で、リモートで操作しているので、これを止めるのは困ります、さりとて別のリグは無い。(別リグの用意はできるが、インターフェースが無い)

ポーリングとは、複数の機器やソフトウェアを円滑に連携させる制御方式の一つで、主となるシステムが他のシステムに対して一定間隔で順繰りに要求がないか尋ねる方式で、コンフリとは、複数の装置やプログラムなどが同じメモリ領域やI/Oポートなどを同時に利用しようとして競合状態になってしまうことを意味する場合が多いとのこと。

それで色々考えて、とりあえず、TS2000をリモートで、周波数・モードを固定し、リグのリモートソフトを一旦止めて、「WJST-X」を立ち上げて見ることにした、当然、PCもリグも電源を一旦断にして再度立ち上げだ。

さあ如何に！ エラーメッセージ無しで立ちあがったと、言えるかと思ったが、矢張り駄目、TS2000を完全に修理しなければいけない、修理完了したら仕切り直したが、インターフェースにも問題あるかも知れません、USBケーブルで繋ぐだけで他のインターフェースが必要無いIC7300等で無ければ無理か？

恥ずかしながらの大失敗談ですが、ともあれ、Hamlibエラーやポーリング(polling)でコンフリクト(conflict)などに振り回され、貴重な経験と勉強をした、何時まで経っても、PCは初心者には毛が生えた程度だということを再認識した次第だ。